

[最新版\(英語版\)はこちら](#)

最終改訂年月 : 23 June 2002

背景 : 股関節骨折は手術管理後の血栓性塞栓合併症リスクが高い。

目的 : 高齢者の股関節骨折手術後の深部静脈血栓(DVT)と肺塞栓の予防でヘパリン(非分画ヘパリン[U])と低分子量ヘパリン[LMW])および理学療法(圧迫ストッキング、ふくらはぎ、または足のフットポンプ)の効果を調べる。

検索戦略 : Cochrane Musculoskeletal Injuries Groupの特別登録(2002年3月まで)、MEDLINE(1966~2002年3月)、EMBASE(1980~2002年3月)、CINAHL(1982~2002年2月第4週)、Current Contents(1993年第26週~2002年第12週)、発表された論文の参照文献リストを検索し、治験担当者およびこの分野の他の研究者と連絡をとった。最新の検索日は2002年3月とした。

選択基準 : 股関節骨折の手術を受けた患者でDVTと肺塞栓を予防するためにヘパリンおよび理学療法の適用を評価したランダム化および準ランダム化試験。

データ収集分析 : 2名のレビューアが互いに独立して方法の質を評価し、データを抽出した。試験は5つのカテゴリーに分類し(ヘパリンと対照、機械的治療と対照、LMWヘパリンとUヘパリン、ヘパリンと機械的治療、およびその他の比較)、可能ならば結果をプールした。

主な結果 : 主に女性の高齢者2958例以上が参加した31件の試験を総説に加えた。全体的に試験の質は不良であった。826例が参加した10件の試験でUヘパリンを対照と比較し、373例が参加した5件の試験でLMWヘパリンを対照と比較したところ、下肢のDVT発症率が減少した(124/474 [26%]対219/519 [42%]; 相対危険度[RR] 0.60; 95%信頼区間[CI] 0.50~0.71)。肺塞栓の予防でいずれかの方法の有効性を確認するには、データが不十分であった。総死亡率に統計的有意差がなかった(42/356 [12%]対38/374 [10%]; RR 1.16; 95%CI 0.77~1.74)。術創合併症を含む他のアウトカムについてはデータが不十分であった。644例が参加した5件の試験では、UヘパリンよりLMWヘパリンが優れているか否かを確認するには、エビデンスが不十分であった。ヘパリンを評価した試験のほとんどは方法に欠点があった。487例が参加した5件の試験で機械的ポンプ器具を検査したが、やはり方法に欠点があり、プール結果は慎重にレビューしなければならない。機械的ポンプ器具はDVT(16/221 [7%]対52/229 [22%]; RR 0.31; 95%CI 0.19~0.51)と肺塞栓に対する保護作用があると考えられる。致死性の肺塞栓の発症率と総死亡率に及ぼす効果を確立するには、データが不十分であった。皮膚擦過傷やコンプライアンスに関する問題が報告された。

レビューア見解 : UおよびLWMヘパリンは下肢DVTに対する保護作用がある。肺塞栓に対する保護作用や全体的なベネフィットを確認し、様々なヘパリン適用を区別するには、エビデンスが不十分であった。足とふくらはぎ用のフットポンプはDVTを予防すると思われ、肺塞栓に対する保護作用があり、死亡率を減少させたが、コンプライアンスに問題がある。機械的治療に関する良好な質の試験、およびヘパリンと低用量アスピリンとを直接比較した試験を検討すべきである。

Citation : Handoll HHG, Farrar MJ, McBirnie J, Tytherleigh-Strong G, Milne AA, Gillespie WJ. Heparin, low molecular weight heparin and physical methods for preventing deep vein thrombosis and pulmonary embolism following surgery for hip fractures. The Cochrane Database of Systematic Reviews 2002, Issue 4. Art. No.: CD000305. DOI: 10.1002/14651858.CD000305.

Clib issue No. : 2005 issue 4

CRG名 : Bone, Joint and Muscle Trauma

Copyright(c) All rights reserved by Minds, Japan Council for Quality Health Care

*** ご注意:** この日本語訳は、試験的翻訳(Draft翻訳)版として公開するものであり、翻訳の正確さや質が保証されたものではありません。訳語の間違いなどお気づきの点がございましたら、Minds事務局までご連絡下さい。また、この試験的翻訳版はコクラン・ライブラリ2005年issue 4に掲載されたレビュー・アブストラクトの翻訳です。コクラン・ライブラリは年4回改定版が発行されていますので、ご利用に際しては、最新版(英語版)の内容をご確認下さい。